

周囲のサポートもあり、子育てと両立しながら、楽しく活動しています。

子どもが小学生になったので…



組合員活動を知りたいと思って…

家でのパソコン作業は1回2時間まで！



CASE2 地域コーディネーター2年目 岡田 博美さん

応募のきっかけ

2人の子どもが小学生になり、落ち着いてきたので「何かやりたい」と思っていた時に、東都生協からメールで届く「information」のお知らせを見て応募しました。東都生協に加入して半年ほど経った頃でした。商品だけではなく、組合員活動を知りたいと思ったこともきっかけです。

工夫していること

ペースをつかむまで少し時間が掛かりましたが、地域委員会の皆さんのサポートもあり、今は無理なく両立できています。家でのパソコン作業は1回2時間までに区切って、子どもたちが学校に行っている時間にやるようにしています。

やってみたいこと

子育て世代の方も参加できるように、週末に時間がある人に来てもらえるような企画を立てていきたいと思います。



イベントの司会を担当することも

無理なく続けられることを探していたときに募集記事を見つけました。

CASE3 地域コーディネーター5年目 渡辺 清子さん

応募のきっかけ

フルタイムの仕事を離れて何か無理なく続けられることはないかと探していたところ、募集記事が目にとまりました。何だか面白そうだし、これまで使ってきたパソコンのスキルも生かせると思い応募しました。

パソコンのスキルが生かせる!?



フルタイムの仕事を離れたタイミングで…

何だか面白そう…

印象に残ったこと

昨年、行った『戦雲-いくさふむ-』の上映会です。会場の場所選びから当日の運営まで担当するプレッシャーもありましたが、周りの方に支えられながら行うことができました。当日は100人を超えるたくさんの参加があり、無事に終わりホッとしました。



『戦雲-いくさふむ-』の映画上映会であいさつ

やってみたいこと

平和の活動をされている方をお招きしてのステージ企画を開催したいです。一緒に活動する地域コーディネーターもさまざまな年齢の方がいて、良い刺激をもらえますし、皆さんの話を聞くこともとても楽しいですね。



学習会では講師のアシスタントも

私たち、地域コーディネーターです

地域コーディネーターは、皆さんと同じ東都生協の組合員です。商品を真ん中に東都生協の良さを伝え、組合員活動の輪を広げながら楽しく活動している方々をご紹介します。

もっと知りたい気持ちが原動力！

「地域版ウォ」の募集記事を見て…



自分にも何かできることがあるかも…

CASE1 地域コーディネーター1年目 柳澤 裕子さん

子どもの受験が終わり、気持ちに余裕ができたタイミングで始めました。

応募のきっかけ

子どもの受験が終わり気持ちに余裕ができ、元々関心のあった「日本の農業や農作物」について何かできることはないかと思っていた際、たまたま「地域版ウォ」の募集記事が目にとまりました。地域コーディネーターという活動があることは、それまで知りませんでしたが、商品を購入するだけでなく、自分にも何かできることがあるかとも思い、応募しました。

良かったこと

「地域版ウォ」作成や、企画する産地・メーカーとのやりとりなど、会社勤めをしていた時とは違う初めてのことに戸惑うこともありますが、誠実に農業に向き合う方々のお話を伺い、自分もこうありたいなと、元気をもらえます。いろいろな方と出会い、もっと知りたい！という気持ちが原動力になっています。

「アジアの子どもたちに絵本を贈ろう」企画



やってみたいこと

組合員の皆さんに楽しい情報共有の場を提供し、おいしく便利な商品を広めながら、一緒に東都生協の魅力を発見していきたいです。「アジアの子どもたちに絵本を贈ろう」と、(有)山形南陽のんのん倶楽部の鈴木さんを講師の学習交流会を担当しました。これからも、企画を通じて経験を積んでいきたいと思っています。



開始前に講師の鈴木秀男さんと打合せ



「未来につなぐ募金」は、組合員から集まった募金を東都生協の商品に換えて、「子ども食堂」や「フードパントリー」などを行っている団体を支援するかたちを取っています。次回の注文から、優しさのお裾分け始めませんか。

商品の注文と一緒に支援できます

募金方法は、注文書の**特別企画欄**に【365920】と記入し、**数量欄に口数を記入**します。
1口200円です。web注文サイト「とうとねっと」、電話注文でも募金ができます。

1口
200円

特別企画	3	6	5	9	2	0
数量						
金額						
備考						

団体名 **フードバンク狛江**

設立 2015年2月 代表者 田中 妙幸(たえこ)さん 活動拠点 狛江市
活動内容 フードバンク、食のセーフティネット、低所得の子育て家庭応援、フードバンクの認知度向上
メンバー 理事6人、非常勤スタッフ1人、ボランティア約10人
ボランティアの受け入れ あり
広報ツール ホームページ、SNS、ニュースレター(年4回)、チラシ、講演会・団体交流会開催

助成団体紹介
Vol. **30**

生活保護の一手手前で支援を！～必要な方に食料を届けて10年間～

「フードバンク狛江」の歴史は、2014年の「フードバンクを考える会」から始まります。設立メンバーが、狛江市生活困窮者自立支援窓口「こまYELL」で「食べ物があると助かる」と聞いたことがきっかけです。2016年にNPO法人化。狛江市との間で食料支援の連携協定を交わし、市庁舎内の作業所と、西野川事務所兼倉庫を貸与されています。

東都生協とは、2018年1月のフードドライブ支援が始まりで、2022年度から4年連続で「未来につなぐ募金」助成を受けるなど、長いお付き合いの団体です。

市役所1階にある作業所の「フードバンク狛江」では、自立支援窓口の「こまYELL」から依頼があると、世帯構



市役所1階「フードバンク狛江」倉庫兼作業所（開所月・木13～15時）
食品のセットは楽しい作業でボランティアに人気



成に合わせて食品をセットし、相談窓口を通じて渡します。ここには西野川倉庫から食品を運び込み、すぐに渡せるようにストックしています。

取材日は、市役所から車で5分ほど移動した事務所兼倉庫でのフードバンク「おすそ分けお渡し会」でした。食品はすでにセットされており、「そうめんとパスタどっちがいい?」「顔につけるクリームいる?」など、スタッフが来所者に声を掛け、適宜アレンジして渡していました。

「東都生協の食品を提供すると、親御さんたちが本当にうれしそうで。生協の食品は安心だということをよく知っているんですね」とスタッフの方から伺い、支援が役に立っていることを実感しました。



「おすそ分けお渡し会」は西野川倉庫で実施

厚生労働省「国民生活基礎調査」(2022年)によると、日本の子どもの貧困率は11.5%。一見豊かに見える現在の日本でも子どもの9人に1人が貧困という深刻な社会問題が存在しています。

日本を含めた先進国の子どもの貧困は、飢餓のような「絶対的貧困」ではなく「相対的貧困」です。外からは見えづらく、困っていても周りが気付きにくい現状があります。世帯の収入が少ないことから十分な食事や教育が受けられず、その状況が親から子へ、子から孫へと連鎖して、貧困から抜け出せない可能性が生じがちです。子どもの貧困は社会全体の問題。子どもの未来を応援するために行政や民間団体、そして私たちにも何ができるかを考えていく必要があります。

column

子どもの貧困

Q どんなことをするの?

地域コーディネーターが協力し合って、担当地域の企画（学習会や産地・メーカー交流訪問など）やサロン企画を立案・運営します。「地域版ウォ」などでの広報も行います。

Q 誰でもなれるの?

東都生協の組合員であれば、どなたでも応募できます。オンライン会議の出席や資料作成のために、簡単なパソコン操作と通信環境が必要になります。

地域 コーディネーター Q&A

Q 小さい子どもがいても大丈夫?

活動の際、東都生協の保育ママ制度(1歳以上のお子さんが対象)が利用できます。会議や研修はオンラインでも参加できます。

Q 交通費の支給はあるの?

交通費のほか、活動費として月に4万円が支給され、一人ずつ、専用の業務携帯、タブレットの貸し出しもあります。

Q 期間は決まっているの?

4月～翌年3月までの1年間が活動期間です。毎年、継続して活動できます。



すぎ*なかサロン

チームワークも バッチリ!



月1回のペースで開催されているサロンでは、組合員活動の相談や情報交換、ピースニット（被爆者の方に贈る膝掛け）の制作や簡単手芸などが企画されています。

7月は、杉並区高井戸地域区民センターを会場に「かご作り」を行いました。和気あいあいと、楽しい雰囲気の場をちょっと覗いてみましょう...



開始前に集まって、スケジュールを確認



たぐさんのカラフルなかが完成!

「東都人材バンク」の講師を招いてかご作り



商品だけを利用している...というあなた! 2026年度の地域コーディネーターの募集が始まりました。説明会も各地で行っています。ぜひ一緒に活動してみませんか。ご応募お待ちしております。



後列右が齋藤さん

企画が無事に終了して、ホッとひと息

地域コーディネーター 齋藤 洋幸さん

2024年5月まで東都生協の職員でした。定年退職後に、何かやってみたいと思っていた今年、募集の案内を見つけました。仕事をしていた時から組合員活動には興味があったので、迷うことなく応募。思い描いた通り楽しく活動しています。これからも杉並・中野地域を盛り上げる企画を考えていきたいです。

ウェルカム・カフェ（地域コーディネーター募集説明会）興味・関心のある方は、右の二次元コードから!

